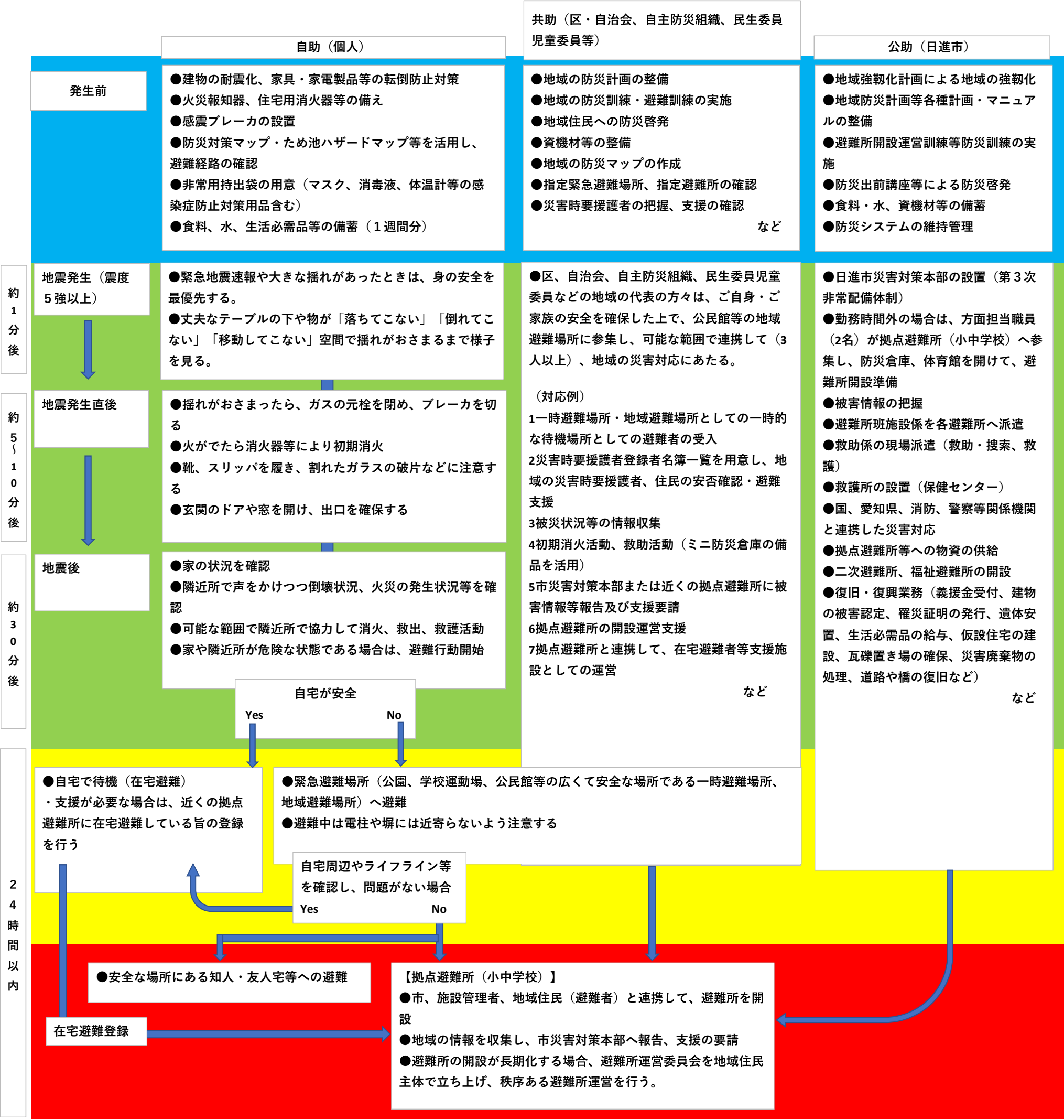


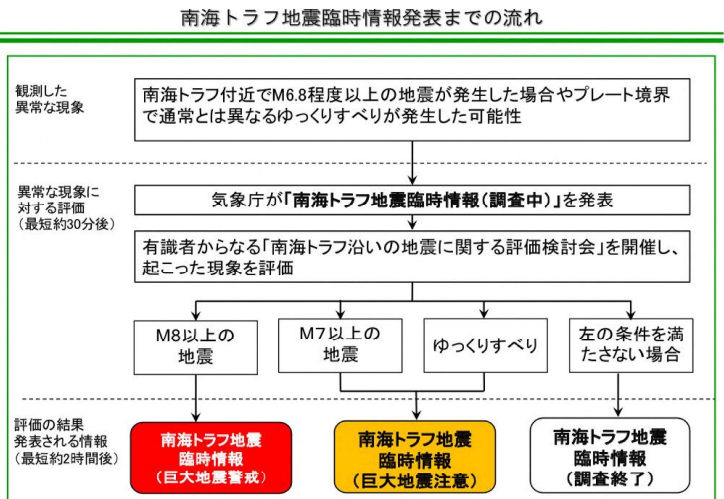
地震発生時の活動モデル



【愛知県に実際に地震が発生する前に気象庁により南海トラフ地震臨時情報が発表される場合があります】※別紙「南海トラフ地震-その時の備え-」参照

時間差で発生する巨大地震に備えましょう
～南海トラフ地震臨時情報～

・南海トラフ地震の発生可能性が通常と比べて相対的に高まったと評価された場合に 気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。
・政府や地方公共団体などからの呼びかけ等に応じた防災対応をとりましょう。



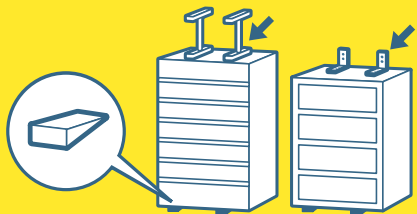
【風水害に備えたタイムライン】

時間	警戒レベル	気象情報	発令基準（浸水害）	発令基準（土砂災害）	日進市の行動	住民がとるべき行動
大雨・台風の数日～ 1日程度前	警戒レベル 1 気象庁	早期注意情報			・気象情報の収集	にしんお知らせメール（防災・気象）の登録 停電時の備え（食料、水、生活必需品等の備蓄） など
大雨・台風の1日～ 4時間程度前	警戒レベル 2 気象庁	大雨注意報、洪水注意報 暴風注意報 ↓	気象庁発表の洪水警報または、大雨警報（浸水害）の危険度分布が黄色（注意）になった場合	日進市を対象に発表された大雨警報(土砂災害)の危険度分布（土砂災害警戒判定メッシュ情報）が黄色（注意）になった場合	非常配備準備体制 ・気象情報の収集	テレビ・ラジオ・インターネット等で気象情報等を収集 非常用持出袋の用意 暴風対策の準備
大雨・台風の2時間程度前	 （警戒レベル3への移行段階）	大雨警報（浸水害） 洪水情報危険度分布（警戒） 暴風警報			第1次非常配備体制 ・災害対策本部の設置 ・災害関連情報の発信（にしんお知らせメール、市HP、ツイッター等）	気象情報・警報等の確認 洪水ハザードマップ等による避難所・避難ルートの確認 ・危険だと判断する場合は、自主避難
					第2次非常配備体制 ・警戒区域の巡回、現場対応 ・自主避難場所（福祉会館、公民館等）の開設	
					第2次非常配備強化体制 ・指定避難所（小中学校、スポーツセンター等）の開設 ・警戒レベル3避難準備・高齢者等避難開始の発令（メール、市HP、ツイッター、広報車） ・避難所運営 ・警察、消防等の関係行政機関との連携 ・ライフライン関係機関との連携	
 大雨の継続	警戒レベル3（避難準備・高齢者等避難開始） 日進市	大雨警報（浸水害） 洪水情報危険度分布（警戒） 暴風警報	① 河川水位が氾濫注意水位に達し、かつ、以降1時間の予想降雨量が30mmを超える場合 ② 降り始めからの連続降雨量（累積降雨量）が100mmを超え、かつ、以降1時間の予想降雨量が30mmを超える場合 ③ 気象庁発表の洪水警報または、大雨警報（浸水害）の危険度分布が赤色（警戒）になった場合	① 降り始めからの連続降雨量（累積降雨量）が100mmを超え、かつ以降1時間の予想降雨量が30mmを超える場合 ② 日進市を対象に発表された大雨警報(土砂災害)の危険度分布（土砂災害警戒判定メッシュ情報）が赤色（警戒）になった場合 ③ 現地の巡視、通報により前兆現象が発見された場合		避難準備情報の受信 危険な場所から高齢者などは避難 避難勧告に備えた準備
	警戒レベル4（避難勧告・避難指示（緊急）） 日進市	大雨警報（浸水害・土砂災害） 暴風警報 洪水情報危険度分布（非常に危険） 洪水情報危険度分布（極めて危険）	① 河川水位が氾濫危険水位に達し、かつ、以降1時間の予想降雨量が30mmを超える場合 ② 降り始めからの連続降雨量（累積降雨量）が200mmを超え、かつ、以降1時間の予想降雨量が30mmを超える場合 ③ 気象庁発表の洪水警報または、大雨警報（浸水害）の危険度分布が紫色（非常に危険・避難勧告）、さらに濃紫色（極めて危険・避難指示（緊急））になった場合	① 降り始めからの連続降雨量（累積降雨量）が200mmを超え、かつ以降1時間の予想降雨量が30mmを超える場合 ② 現地の巡視、通報により前兆現象が連続的に発見された場合 ③ 日進市を対象に発表された大雨警報(土砂災害)の危険度分布（土砂災害警戒判定メッシュ情報）が紫色（非常に危険・避難勧告）、さらに濃紫色（極めて危険・避難指示（緊急））になった場合 ④ 土砂災害警戒情報（愛知県砂防課と名古屋地方気象台が共同発表）が日進市を対象に発表された場合	・警戒レベル4 避難勧告の発令（メール、市HP、ツイッター、広報車、防災サイレン） ・県へ助言の要請 ・自衛隊の派遣要請 ・避難指示（緊急）の発令	避難勧告の受信 安全な場所へ避難 避難指示（緊急）の受信 安全な場所へ急いで避難
 浸水害、土砂災害発生	警戒レベル5（災害発生情報） 日進市	大雨特別警報（浸水害・土砂災害） 暴風特別警報	① 破堤・越水（溢水）を確認した場合 ② 河川管理施設の大規模な異常（堤防本体の亀裂・大規模な漏水等）を確認した場合 ③ 大雨特別警報が発表された場合	① 近隣で土砂災害が発生した場合、土砂移動現象・前兆現象が発見された場合 ② 前兆現象の発生や、切迫した現況から、人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断されたとき。 ③ 大雨特別警報が発表された場合	第3次非常配備体制 ・警戒レベル5の発令（メール、市HP、ツイッター、広報車、防災サイレン） ・被災箇所の確認 ・災害発生情報の発信 ・応急対策の実施 ・救助活動	命を守る最善の行動 未避難者の屋内安全確保、 垂直避難

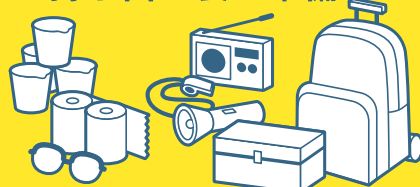


地震の発生に備えよう

□ 家具の固定



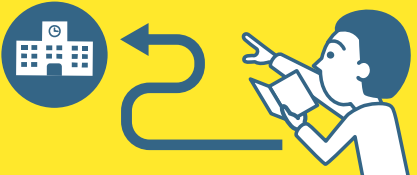
□ 非常用 持ち出し袋の準備



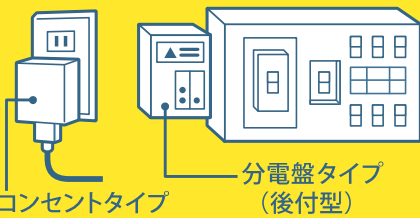
□ 水や食料の備蓄



□ 避難場所や 避難経路の確認



□ 感震ブレーカーの設置



□ 建物の耐震化



自らの命、大切な人の命を守るために、今から準備しておきましょう

南海トラフ地震 臨時情報

(発表条件)

- 南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
- 観測された異常な現象の調査結果を発表する場合

キーワード

調査中

巨大地震警戒

巨大地震注意

調査終了

- 観測された異常な現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合

- 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界において M8.0 以上の地震が発生したと評価した場合

- 南海トラフ地震の想定震源域内のプレート境界において M7.0 以上、M8.0 未満の地震が発生したと評価した場合
- 想定震源域のプレート境界以外や、想定震源域の海溝軸外側 50km 程度までの範囲で M7.0 以上の地震が発生したと評価した場合
- ひずみ計等で有意な変化として捉えられる、短い期間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合

- 巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合

南海トラフ地震 関連解説情報

- 観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する場合
- 「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（ただし臨時情報を発表する場合を除く）

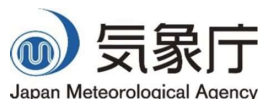


内閣府政策統括官(防災担当)付
参事官(調査・企画担当)

〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1 中央合同庁舎8号館
電話：03-5253-2111 (大代表) FAX：03-3501-6820
内閣府ホームページ <http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/>



① お問い合わせ先



気象庁地震火山部地震予知情報課

〒100-8122 東京都千代田区大手町1丁目3番4号
電話：03-3212-8341 (代表) FAX：03-6689-2917 (耳の不自由な方向け)
気象庁ホームページ <https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/nteq/index.html>



南海トラフ地震

— その時の備え —

知ることであなたと大切な人の命を守る

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として、過去に大きな被害をもたらしてきた大規模地震です。

次の南海トラフ地震は
いつ起きてもおかしくありません。



南海トラフ巨大地震の
想定震源域

最大震度 **7**

想定される津波高
最大 **30m 超**

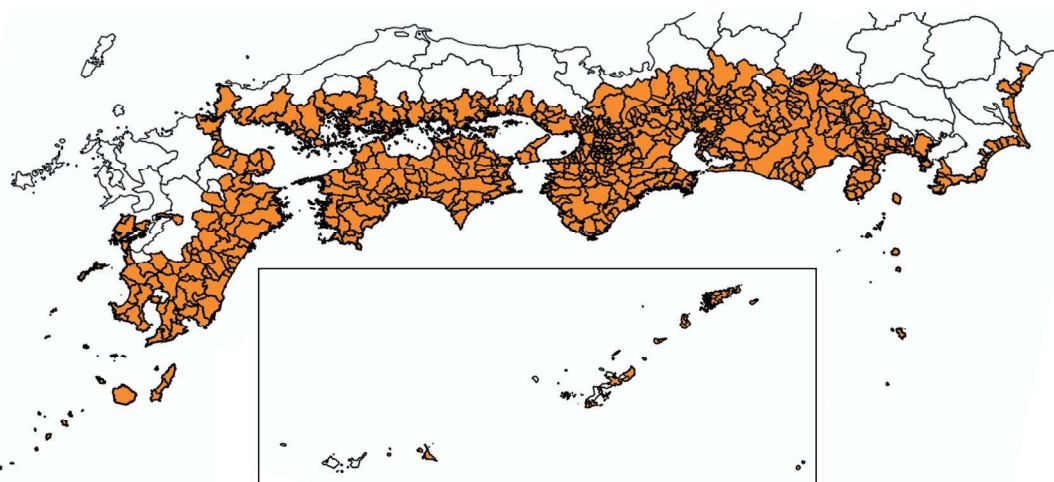
南海トラフ地震の発生に伴い、関東から四国・九州にかけて極めて広い範囲で著しい災害が生じるおそれがあります。特に沿岸部では津波による甚大な被害が生じる可能性があります。大きな被害が見込まれる地域では、南海トラフ地震に備える必要があります。

南海トラフ地震で大きな被害が見込まれる地域

南海トラフ地震
防災対策推進地域

指定基準の概要

- 震度6弱以上の地域
- 津波高3m以上で海岸堤防が低い地域
- 防災体制の確保、過去の被災履歴への配慮



南海トラフ地震が発生したら・・・

地震発生 揺れを感じたらまず身を守る行動を

突然の揺れ



家庭で
頭を保護して机の下など頑丈な場所に隠れる



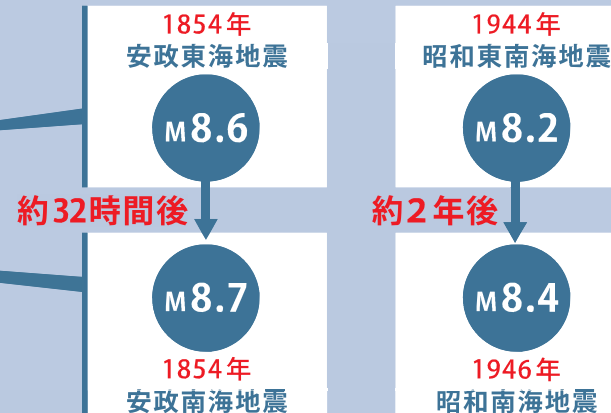
屋外で
ブロック塀や電柱、自動販売機など、倒れる危険のある場所から離れる



沿岸部で
津波の発生・襲来に備えて、安全な場所に避難する

地震は一度では終わらないかも ～時間差で起きる場合も～

〔過去事例〕



※Mはモーメントマグニチュード
※西側で先に大規模地震が発生する可能性もあります。

時間差で発生する巨大地震に備えましょう ～南海トラフ地震臨時情報～

- ・南海トラフ地震の発生可能性が通常と比べて相対的に高まったと評価された場合に気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。
- ・政府や地方公共団体などからの呼びかけ等に応じた防災対応をとりましょう。

地震発生後の防災対応の流れ

